

令和7年度全国学力・学習状況調査 秩父別町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:17人 中学校数:1校、生徒数:19人

○ 教科に関する調査の状況

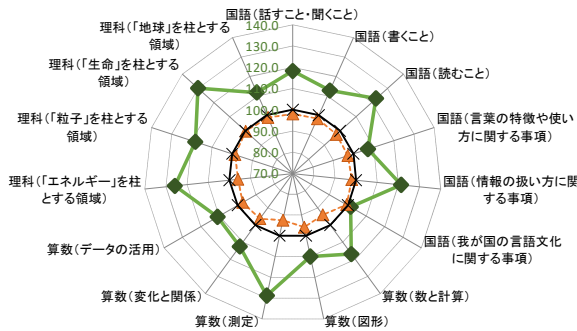
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

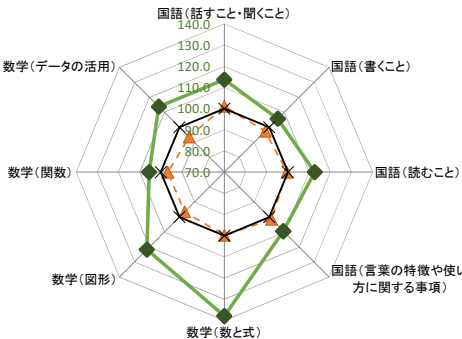
【平均正答率・平均IRTスコア】※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
秩父別町	77	68	67	60	59	578
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

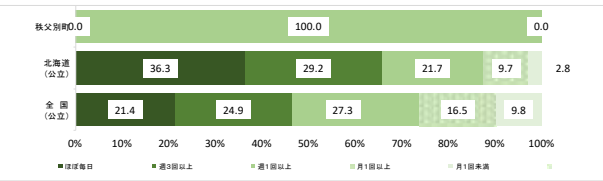


○ 質問調査の状況

小学校

＜学校質問＞

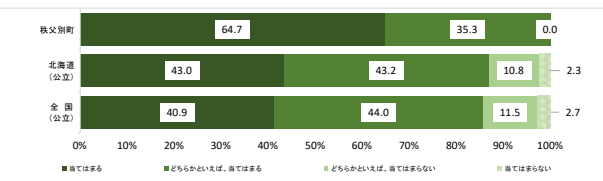
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

＜児童質問＞

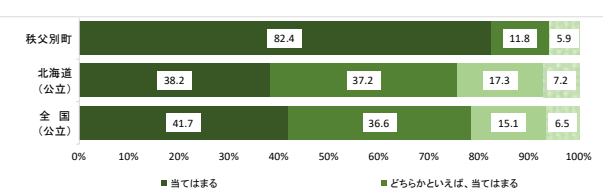
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

＜児童生徒質問＞

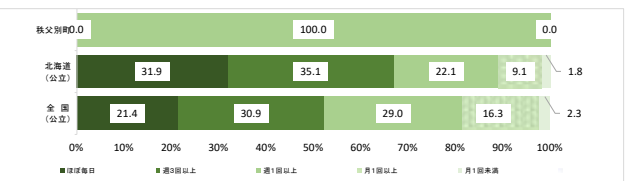
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

＜学校質問＞

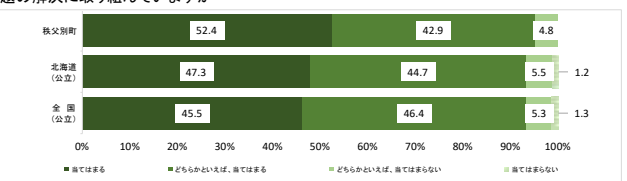
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

＜生徒質問＞

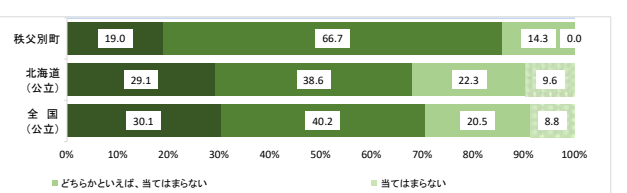
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

＜児童生徒質問＞

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- ・小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上活用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を10ポイント以上、上回っている状況は、算数[数学]の授業の内容が分かったと肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国及び全道を上回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・得意な領域の得点水準を維持しつつ、苦手な領域を克服するための取組の推進
- ・ICT端末を活用した授業の継続
- ・下位層の学力向上を目指すことのできる学習環境を整えるための学習支援員や専科指導の配置の促進